

教職課程

1. 教職課程について

卒業後、教育職員を志望するものは、「教育職員免許法」に定める教育職員免許状を取得する必要があります。そのためには、卒業に必要な所定の単位を修得するとともに、所要条件を満たし、かつ所定の単位修得し、申請することが必要になります。

2. 取得できる免許状について

教職課程を履修し、卒業と同時に申請し取得できる免許状は、下記のとおりです。

コース	免許状の種類	免許教科	対象学科
数学コース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学	情報システム学科
情報コース	高等学校教諭一種免許状	情報	情報システム学科

3. 教職課程の科目区分・必要単位数

教職課程科目は、【教員免許取得のための必修科目】【教育の基礎的理解に関する科目等】【教科及び教科の指導法に関する科目】に大別され、それぞれの必要単位数は、下記のとおりになります。

教職課程科目の科目区分と必要単位数 (数字は単位数)

コース	教員免許取得のための必修科目 (教育職員免許法施行規則第66条の6)	教育の基礎的理解 に関する科目等	教科及び教科の指 導法に関する科目
数学コース	10単位 【表1】	中学 31単位※ 【表2-1】	中学 36単位 【表2-2】
		高校 27単位 【表2-1】	高校 40単位 【表2-3】
情報コース		高校 27単位 【表3-1】	高校 40単位 【表3-2】

※「数学コース」履修者において、中学校教諭一種の免許状を取得しようとする者は、教職課程科目の履修の他に、社会福祉施設と特別支援学校で、計 7 日以上「介護等体験実習」を行う必要があります。「介護等体験実習」とは、障がい者、高齢者に対する介護、介助、これらの人たちとの交流等の体験を指します。「介護等体験実習」の参加に際しては、実習費として1万2千円が必要になります。

また、「介護等体験実習」を終了した者は、施設長からの体験証明書を免許状の申請に添えて教育委員会に提出しなければなりません。

4. 「教育実習A」および「教育実習B」の履修前提条件と実習期間について

1. 履修前提条件について

4年次に実施される「教育実習A」、「教育実習B」を履修するには、条件が定められており、原則として、3年次までの「教職に関する科目」のうち下表に掲げる科目を全て修得しなければ、実習に行くことはできません。

[Ⅰ表]

学年	前 期	後 期
1 年	教職論 教育原理	教育社会学
2 年	教育心理学 情報通信技術の活用	教育方法論 教育課程論
3 年	教育実習指導(4 年次と併せて 1 単位) 数学科教育法1(数学コース) 情報科教育法1(情報コース) 道徳教育の理論と実践 (数学コースの中学校教諭免許状取得希望者)	教育相談の理論と方法 数学科教育法2(数学コース) 情報科教育法2(情報コース) 特別支援教育の理論と指導方法 総合的な学習の時間の指導法

※4年次には、「教育実習A」、「教育実習B」のほかにも、履修する必要のある科目がありますので、注意してください。

[Ⅱ表]

科 目(単位数)	開 講 期	対象学科	必要 単位数	備 考 ※注1
「法学A」(2 単位)	3	全学科	計 4 単位	「日本国憲法」 に対応する科目
「法学B」(2 単位)	4			
「スポーツ実技A」(1 単位)	1		計 2 単位	「体育」 に対応する科目
「スポーツ実技B」(1 単位)	2			
「英語スキル1」(2 単位)	1		計 2 単位	「外国語コミュニケーション」 に対応する科目
「Python プログラミング1」(2 単位)	3	情報システム学 科	計 2 単位	「情報機器の操作」 に対応する科目

※注1教育職員免許法第 5 条別表第 1 備考第 4 号(文部省令で定める修得すべき科目)及び施行規則 66 条の 6 関係

2. 実習期間について

免許状の種類により必要な教育実習期間が異なりますので、下記を参考にしてください。

- (1)高等学校一種免許状を取得しようとする者は、2 週間の教育実習を必要とし「教育実習B」を履修しなければならない。
- (2)中学校一種免許状を取得しようとする者は、原則 3 週間の教育実習を必要とし「教育実習A」「教育実習B」の両科目を履修しなければならない。

■ 情報システム学科

「数学」(中学校教諭・一種免許状、高等学校教諭・一種免許状)に関する教職課程科目 教職課程 25生対象

【表1】 教員免許取得のための必修科目

科 目(単位数)	必要単位数	備 考 ※注1
「法学A」(2 単位) 「法学B」(2 単位)	計 4 単位	「日本国憲法」に対応する科目
「スポーツ実技A」(1 単位) 「スポーツ実技B」(1 単位)	計 2 単位	「体育」に対応する科目
「英語スキル1」(2 単位)	計 2 単位	「外国語コミュニケーション」に 対応する科目
「Pythonプログラミング1」(2 単位)	計 2 単位	「情報機器の操作」に対応する科目

※注1 教育職員免許法第 5 条別表第 1 備考第 4 号(文部省令で定める修得すべき科目)および施行規則 66 条の 6 関係

【表2-1】 教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目		単位数		毎週授業時間数								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
		必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	
第三欄	教職論	2		2								
	教育原理 ★	2		2								
	教育心理学 ★	2				2						
	教育社会学 ★	2			2							
	特別支援教育の理論と指導方法	2						2				
	教育課程論	2					2					
第四欄	道徳教育の理論と実践	2						2				中1種免許のみ必修
	総合的な学習の時間の指導法	1							1			
	特別活動の理論と方法	2									2	
	教育方法論	2					2					
	情報通信技術の活用	1				1						
	生徒・進路指導論	2								2		
	教育相談の理論と方法	2							2			
第五欄	教育実習指導	1						1		1		中1種免許のみ必修
	教育実習A	2								2		
	教育実習B	2								2		
	教職実践演習(中等)	2									2	
合計	中学校教免	31		4	2	3	4	3	5	7	4	
	高校教免	27										
(注) 1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。												

【表2-2】教科及び教科の指導法に関する科目

ア. 中学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分	
線形代数1	2		2								代数学	「免許法」で定められた最低修得単位数 28単位必修
線形代数2	2			2								
幾何学1	2						2				幾何学	
解析学1	2		2	(2)							解析学	
解析学2	2			2	(2)							
解析学3	2				2	(2)						
常微分方程式	2					2	(2)					
応用解析1	2				2							
確率・統計	2				2						「確率論、統計学」	
Cプログラミング1	2		2	(2)							コンピュータ	
数学科教育法1	2						2				各教科の指導法	
数学科教育法2	2							2				
数学科教育法3	2								2			
数学科教育法4	2									2		
線形代数3		2			2						代数学	必修1科目2単位を含む合計4科目8単位以上修得すること。
代数系入門		2								2		
幾何学2		2						2			幾何学	
応用解析2	2					2					解析学	
応用解析3		2							2			
応用解析4		2								2		
数理統計学2		2						2				
情報統計学		2				2					コンピュータ	
数値計算法		2						2				
情報理論		2				2						
オートマトン・言語理論		2				2						
合計	30	20	6	4 (4)	8 (2)	10 (2)	4 (2)	8	4	6		

【表2-3】教科及び教科の指導法に関する科目

イ. 高等学校教諭一種免許状

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考	
			1年次		2年次		3年次		4年次			
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分	
線形代数1	2		2								代数学	「免許法」で定められた最低修得単位数 24単位必修
線形代数2	2			2								
幾何学1	2						2				幾何学	
解析学1	2		2	(2)							解析学	
解析学2	2			2	(2)							
解析学3	2				2	(2)						
常微分方程式	2					2	(2)					
応用解析1	2				2							
確率・統計	2				2							
Cプログラミング1	2		2	(2)							コンピュータ	
数学科教育法1	2						2				各教科の指導法	
数学科教育法2	2							2				
線形代数3		2			2						代数学	必修1科目2単位を含む合計8科目16単位以上修得すること。
代数系入門		2								2		
幾何学2		2						2			幾何学	
応用解析2	2					2					解析学	
応用解析3		2							2			
応用解析4		2								2		
数理統計学2		2						2			「確率論、統計学」	
情報統計学		2				2					コンピュータ	
数値計算法		2						2				
情報理論		2				2						
オートマトン・言語理論		2				2						
合計	26	20	6	4 (4)	8 (2)	10 (2)	4 (2)	8	2	4		

【表1】教員免許取得のための必修科目

科目(単位数)	必要単位数	備考 ※注1
「法学A」(2単位) 「法学B」(2単位)	計4単位	「日本国憲法」に対応する科目
「スポーツ実技A」(1単位) 「スポーツ実技B」(1単位)	計2単位	「体育」に対応する科目
「英語スキル1」(2単位)	計2単位	「外国語コミュニケーション」に対応する科目
「Pythonプログラミング1」(2単位)	計2単位	「情報機器の操作」に対応する科目

※注1教育職員免許法第5条別表第1備考第4号(文部省令で定める修得すべき科目)および施行規則66条の6関係

【表3-1】教育の基礎的理解に関する科目等

授業科目		単位数		毎週授業時間数								備考
				1年次		2年次		3年次		4年次		
		必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	
第三欄	教職論	2		2								
	教育原理 ★	2		2								
	教育心理学 ★	2				2						
	教育社会学 ★	2			2							
	特別支援教育の理論と指導方法	2							2			
	教育課程論	2					2					
第四欄	総合的な学習の時間の指導法	1							1			
	特別活動の理論と方法	2									2	
	教育方法論	2					2					
	情報通信技術の活用	1				1						
	生徒・進路指導論	2								2		
	教育相談の理論と方法	2							2			
第五欄	教育実習指導	1						1		1		
	教育実習B	2								2		
	教職実践演習(中等)	2									2	
合計		27		4	2	3	4	1	5	5	4	

(注) 1. ★印の科目は人間科学科目群Bグループの卒業に必要な単位数に含むことができる。

【表3-2】教科及び教科の指導法に関する科目

授業科目	単位数		毎週授業時間数								備考
			1年次		2年次		3年次		4年次		
	必修	選択	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	免許法における科目区分
知的財産権論		2								2	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理
情報化社会と情報倫理	2									2	
情報化社会と職業	2									2	
Cプログラミング2	2			2	(2)						コンピュータ及び情報処理
コンピュータアーキテクチャ1	2				2						
コンピュータアーキテクチャ2		2				2					
アルゴリズムとデータ構造1	2				2						
アルゴリズムとデータ構造2		2				2					
情報演習D	4						4	(4)			
コンパイル構成法		2					2				
デジタル回路		2					2				
コンピュータセンシング		2					2				
Pythonプログラミング2		2				2					
オペレーティングシステム	2				2						情報システム
データベース	2							2			
リアルタイムシステム		2							2		
分散処理		2							2		
情報ネットワーク概論	2		2								情報通信ネットワーク
情報ネットワーク1	2			2							
ネットワークプログラミング		2					2				
通信工学		2							2		
情報演習C	4						4	(4)			
CAD	2								2		
情報科教育法1	2						2				各教科の指導法
情報科教育法2	2							2			
合計	32	22	2	4	6 (2)	6	18	4 (4)	8	6	